



白川小だより

学校の教育目標

ひとりだち

すすんで (自立)
なかよく (共生)
みんなのために (貢献)

平成29年3月1日 (水)

時を守り 場を清め 礼を正す

白川郷学園白川小学校 校長 下出 尚弘

本学園では、「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを生活の基盤・行動目標とし、どの子どもが身に付けることを目指して取り組んでいます。このことは、本学園の教育目標「ひとりだち」に向けた取組として大切にしていることです。

「時を守り」は、開始や終了の時刻を守ることや約束の時刻を守ること、決められた時間で行動することです。子どもたちには、「時を守る」意味について、こう語っています。「私の一生もあなたの一生も二度とない一生です。二度とない一生、時間を大切にすることは、相手を**尊重**することになります。時を守り相手を大切にすることの積み重ねが**信頼**につながります。」

「場を清め」は、掃除をすること、机上や身の回りの整理整頓をすることです。「場を清める」意味については、こう語っています。「掃除や整理整頓は、その場をきれいにするだけでなく、自分たちの心を磨きます。小さなゴミにまで気づいて掃除できる人は、他の人が自分のためにしてくれていることに気づける人につながります。**感謝**の気持ちも、こうした**気づき**の中から芽生えます。」

「礼を正す」は、本学園では「自分から・目を見て・明るい声で」挨拶をすることに取り組んでいます。「礼を正す」意味については、こう語っています。「挨拶は、人と人をつなぐはじめの一步。自分から心を開いて挨拶をすることで、よりよい人間関係をつくることができます。」相手を**尊重**して心を含めて礼をすること、相手に**感謝**して「ありがとう」を言葉で伝えることも大切にしていることです。

本学園はノーチャイムで授業が開始されます。自分で時計を見て行動すること、自分の意志で時を守ることに取り組んでいます。下校時の集合の折に遅れてきた子は、「遅れてごめんなさい」と自分の言葉で謝ります。「時を守る」態度と意味を学んでいます。掃除の時間、小さなゴミや埃も見逃さずに真剣に掃除をする姿、雑巾の端をピンと引っ張り雑巾をきれいに干す姿、膝をついて黙々と床を拭く姿を多く見ることができます。「場を清める」態度と心を磨いています。朝、「おはようございます」と「自分から・目を見て・明るい声で」挨拶できる子がたくさんいます。自分から人間関係を築く力を培っています。中には、このような挨拶ができない子もいます。その子には、こちらから「おはよう」と笑顔で挨拶をしています。言葉をかけると静かにうなずきます。その子が心を開き、自分から挨拶できる「礼を正す」日を願い、見守り続けていきたいと思えます。

「時を守り 場を清め 礼を正す」ことは、一生、人間として大切なこと。子どもだけでなく大人・私自身にとっても大切なこと。今、自戒を含めて書いています。



グラウンドは雪に覆われていますが、差し込む日差しや肌に触れる空気に、春の気配を感じる今日この頃です。 2/17 内山教頭 撮影